

1. 基本情報

評価対象年度 (30 年度)

施策コード	123		施策名	文化・芸術・スポーツ活動の支援				
将来像	1	安全でうるおいのある暮らしができるまち(「暮らし」の分野)						
まちづくりの基本目標	12	生きがいを持って文化的に生活できるまち						
主担当部	教育部		主担当課	生涯学習スポーツ課		主担当係	生涯スポーツ係	
担当者	石川 智裕		役職	教育部長		内線	321	
関係課	障害福祉課	高齢支援課	郷土博物館					

2. 施策の方向

10年後の姿	市民は自分にあった文化・芸術・スポーツ活動を楽しみながら、健康で心豊かな生活を送っています。また、そのような活動を通して、人と人との交流の広がりが深まりが進んでいます。							
施策の方向性	1	市民文化・芸術の充実と発展をめざします						
	2	誰でも気軽にスポーツ活動に親しめる環境をつくります						

3. 構成事業の状況

(単位:千円)

No.	事務事業名	実行計画	施策の方向性	担当課	平成29年度決算	平成30年度決算	平成31年度予算
0103010212	ゲートボール場運営管理事業		2	高齢支援課	1,274	1,030	1,072
0110050104	文化活動振興事業	対象	1	生涯学習スポーツ課	4,396	2,972	3,062
0110050106	文化団体育成事業		1	生涯学習スポーツ課	600	600	600
0110050109	清瀬市コミュニティプラザ等管理事業	対象	1	生涯学習スポーツ課	89,664	91,099	106,661
0110050110	清瀬けやきホール運営管理事業	対象	1	生涯学習スポーツ課	76,428	70,342	71,588
0110050701	生涯学習センター運営管理事業	対象	1, 2	生涯学習スポーツ課	46,413	59,040	158,368
0110060103	スポーツ推進委員活動事業		2	生涯学習スポーツ課	1,735	1,908	1,926
0110060104	体育等振興事業	対象	2	生涯学習スポーツ課	1,542	2,845	3,222
0110060105	学校体育施設等開放事業		2	生涯学習スポーツ課	42	139	58
0110060106	スポーツ団体育成事業		2	生涯学習スポーツ課	2,080	2,030	2,050
0110060110	東京2020大会関係事業	対象	2	生涯学習スポーツ課			4,246
0110060201	清瀬内山運動公園等管理事業	対象	2	生涯学習スポーツ課	181,311	91,149	94,777
0110050321	特別展事業	対象	1	郷土博物館	6,143	1,227	6,786
総事業費(施策の合計)					411,628	324,381	454,416

4. まちづくり指標

指標情報				平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和3年度	令和7年度
①	名称	この一年で芸術・文化に接したことがある人の割合		目標値	—	—	—	70.0
	説明	単位	%	実績値	66.0	—		
	抽出方法	市政世論調査(平成29、令和2、5、8年度実施)		達成率	—	—		
②	名称	この一年でスポーツ・レクリエーションに参加したことがある人の割合		目標値	—	—	—	39.2
	説明	単位	%	実績値	35.2	—		
	抽出方法	市政世論調査(平成29、令和2、5、8年度実施)		達成率	—	—		

5. 評価(平成30年度実績に対する)

評価基準		評価※	評価理由
投入財源・成果 (「3. 構成事業の状況」「4. まちづくり指標」)に対する評価	総合評価 (成果、投入財源等を総合的に評価)	維持	構成事業の状況については、文化、芸術、スポーツ活動の充実や発展において、それぞれ目的達成の手段として構成され、「10年後の姿」を達成するために適当な事務事業が展開されている。スポーツレクリエーション競技団体、芸術・文化の鑑賞、活動を行う団体ともに高齢化等の理由により新規加入団体が増えていないことから、文化・スポーツ等の市民が活動できる場の提供を文化協会や、体育協会、サークル活動団体に働きかけることが必要である。 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、イベントでののぼり旗や参加者へのバッジの配布、公共施設にポスター等を掲示して気運醸成を図った。

※順調「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が順調に推移している
維持「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗に一部課題がある
停滞「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が遅れている

6. 施策を取り巻く環境

外部要因	状況	外部要因に対する評価	評価理由
市民ニーズの状況	高齢者や小・中学生を対象にした市主催の生涯学習講座やスポーツ事業等に参加しやすい事業の実施が求められている。	2. 施策遂行に不利	参加者が高齢者や小・中学生の事業のため、受講後に受講者自らによる主体的な活動に繋がりにくい。
将来人口の推移	少子高齢化が進行する。	2. 施策遂行に不利	対象としたい現役世代の参加が難しい。
他自治体との比較	スポーツ施設が充実している。	1. 施策遂行に役立つ・有利	スポーツ施設の改修工事を行い、利用希望者が多く施設を活かした展開に役立つ。
民間企業・NPO・市民の動向	ボランティア活動が充実している。	3. 施策の必要性を高める	市主催事業及び地域イベント等にボランティアの参加を結びつける必要がある。
法・制度改正の動向			
技術革新の動向			
その他	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、スポーツ事業の気運醸成を図る。	1. 施策遂行に役立つ・有利	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、市主催イベント等にPRを行い気運が高まる。

7. 施策を進める上での課題

①	施策を進める上での課題	スポーツ施設の改修・維持管理が必要である。		
	関連する事務事業名	清瀬内山運動公園等管理事業		
	現在の取組状況	内山運動公園避雷針設置及び下宿地域市民センターと耐震設計を実施した。		
	令和2年度以降の取組	スポーツ施設の維持管理、下宿地域市民センター及び市民体育館耐震工事を実施する。		
②	施策を進める上での課題	運営スタッフの高齢化等による人材確保が難しい。		
	関連する事務事業名	体育等振興事業		
	現在の取組状況	スポーツボランティアの募集周知、登録など人材確保を実施している。		
	令和2年度以降の取組	スポーツ事業のボランティア協力体制の充実、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会での聖火リレー時の人材確保を目指す。		